

「わり算の筆算」のやり方をわかりやすく解説 (3けたのわり算)

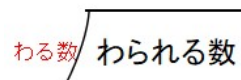
3けたのわり算の筆算のやり方

852 ÷ 4 を筆算を使って計算しなさい。

まず、わり算の筆算は次のように書くよ。

4 /	8	5	2

家の屋根みたいな記号を使って、
わられる数が家の中で、わる数が外に出るんだよね。



さっそく筆算をしていこう。



852って、百の位と十の位と一の位があるんだけど、筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。

まずは、百の位だけをわり算するよ。

なので、十の位と一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしまおう。



十の位と一の位をかくすと、 $8 \div 4$ になるね。



4 /	8		

ステップ1：百の位をわる

百の位の「8」を「4」でわるよ。

8の中に4がいくつ入るか考えると2つだね。

だから、百の位の屋根の上に「2」を書こう。

	2		
4 /	8		

8 ÷ 4 をしよう。
8 の中には4が
2 つ入るよね

百の位の屋根のに「2」を書くことを
百の位に「2」をたてるっていうよ。



ステップ2：たてた数とわる数をかける

次に、わる数4と百の位の上にたてた2をかけた数を8の下に書くよ。

	2		
4/	8	👏	👏
	8		
	4と2をかける		

ステップ3：百の位でひき算をする

8から8をひくよ。

	2		
4/	8	👏	👏
	8		
	0		
	8から8をひく		

ステップ4：いちどチェックしよう

2けたのかけ算と同じように、
ひき算した後にチェックすることがあるんだ。
ひき算した数がある数4より小さいかをかくにんしよう。
小さかったらOK。次のステップにいこう。



	2		
4 /	8	✋	✋
	8		
	0		

わる数4より小さいか
チェック

ステップ5：十の位をおろす

百の位のわり算はもうできることがないね。
だから、ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。
かくしていた十の位の「5」を下におろそう。

	2		
4 /	8	5	✋
	8		✋
		5	

十の位の5を
おろす

十の位の数字を、今計算している場所にもってこないと計算しづらいよね。
この数字を計算している場所までもってくることを「おろす」と言うんだよ。

ここまでのステップをふりかえると、次のようになるよ。
2けたのわり算の筆算と全く同じだよ。



わり算の筆算のステップ

- ・ステップ1 わる
- ・ステップ2 かける
- ・ステップ3 ひく
- ・ステップ4 チェック
- ・ステップ5 おろす

それでは、このステップを今度は「十の位とわる数」でくりかえすよ。

ステップ1：十の位をわる

ここからは、おろしてきた十の位の数字の出番だね。

5の中に4がいくつ入るか考えると1つだね。
だから、十の位に「1」を書こう。


	2	1	
4 /	8	5	👉
	8		
		5	

5 ÷ 4 をしよう
5の中に4が
1つ入るよね




ステップ2：たてた数とわる数をかける

次に、わる数4と十の位の上にたてた1をかけた数を5の下に書くよ。

	2	1	
4 /	8	5	
	8		
		5	
		4	
	4と1をかける		

ステップ3：ひき算をする
5から4をひくよ。

	2	1	
4 /	8	5	
	8		
		5	
		4	
		1	
	5から4をひく		




ステップ4：いちどチェックしよう

ここでチェックすることがあったね。

ひき算した数がある数4より小さいかをかくにんしよう。

1は4より小さいからOKだね。

	2	1	
4/	8	5	
	8		
		5	
		4	
		1	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>わる数4より 小さいかチェック</p> </div>			

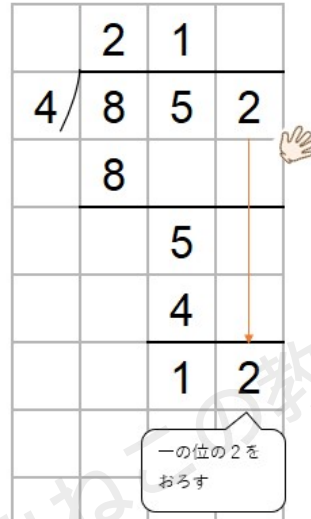
ステップ5：一の位をおろす

十の位のわり算はもうできないことがないね。

だから、ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。



かくしていた一の位の「2」を下におろそう。



今までのステップを、最後に「一の位とわる数」でくりかえすよ。

ステップ1：一の位をわる

ここからは、おろしてきた一の位の数字の出番だね。

ただ、十の位をわったときに、あまりが出ていた場合（今回なら「1」があまったね）は、そのあまりと一の位の数字が合体するのでちゅういしてね。

今回は、十の位で1があまっていたよね。

十の位の1ということは、これは「10」のことなんだ。

あまっていた「10」と、おろしてきた一の位の「2」を合体させて、「12」をわることになるよ。

12の中に4がいくつ入るか考えると3つだね。

だから、一の位に「3」を書こう。



	2	1	3
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2

12 ÷ 4 をしよう
12の中に4が
3つ入るよね

ステップ2：たてた数とわる数かける

次に、わる数4と一の位の上にたてた3をかけた数を12の下に書くよ。

	2	1	3
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2
		1	2

4と3をかける



ステップ3：ひき算をする

12から12をひくよ。

	2	1	3
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2
		1	2
			0

12から
12をひく

ステップ4：いちどチェックしよう

ここでチェックすることがあったね。

ひき算した数がある数4より小さいかをかくにんしよう。

0は4より小さいからOKだね。



	2	1	3
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2
		1	2
			0

わる数4より
小さいかチェック

ステップ5は「おろす」なんだけれど、3けたのわり算なので、これ以上おろせるものは残っていないよね。

だから、これで852÷4の筆算は終わりになるよ。

屋根の上に乗っている24がわり算の答え

ここまでできたら、屋根の上に乗っている数字をみてみよう。

これが、わり算の答えになっているよ。

わり算の答えのことを「商（しょう）」というから、「852÷4の商は213」と求めることができたね。



わり算の筆算のやり方の流れ

852 ÷ 4 の筆算の流れをまとめると、次のようになるよ。

①

3	7	2

②

	2	
3	7	✋

7 ÷ 3 をしよう。
7 の中には 3 が
2 つ入るよ

③

	2	
3	7	✋
	6	
	1	

3 と 2 をかける
7 から 6 をひく

④

	2	
3	7	2
	6	
	1	2

一の位の 2 を
おろす

⑤

	2	1	
4	8	5	✋
	8		
		5	

5 ÷ 4 をしよう
5 の中に 4 が
1 つ入るよ

⑥

	2	1	
4	8	5	✋
	8		
		5	
		4	
		1	

4 と 1 をかける
5 から 4 をひく



⑦

	2	1	
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2

一の位の2をおろす

⑧

	2	1	3
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2

12 ÷ 4 をしよう
12の中に4が
3つ入るよね

⑨

	2	1	3
4/	8	5	2
	8		
		5	
		4	
		1	2
4と3をかける		1	2
12から12をひく			0

わり算のけん算

わり算の筆算は、すこしややこしいよね。

特に3けたになると、レベルアップするね。

だから、とちゅうでミスをしてしまうことも多いんだ。

だから、できるだけ「けん算」をしてチェックするくせをつけよう。



今回の「852÷4」のわり算の答えは次のようになったね。

$$\boxed{852} \div \boxed{4} = \boxed{213}$$

じゃあ、本当に答えが213であっているのかたしかめるために、わる数の「4」と商の「213」をかけ算してみよう。

$$\begin{array}{ccc} \boxed{4} & \times & \boxed{213} & = & \boxed{852} \\ \text{わる数} & & \text{商} & & \text{わられる数} \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} \boxed{3} & \times & \boxed{24} & = & \boxed{72} \\ \text{わる数} & & \text{商} & & \text{わられる数} \end{array}$$

計算すると852になるから、
答えはあっているということになるね。

わり算のけん算

- ・わる数と商をかけて、わられる数になっているか確認をしよう。



わり算の筆算の練習問題

962 ÷ 3 を筆算を使って計算しなさい。

さっきと同じように筆算をしていくと次のようになるよ。

①

3	/	9	👏

②

		3	
3	/	9	👏

9 ÷ 3 をしよう。
9 の中には3が
3つ入るよね

③

		3	
3	/	9	👏
		9	
		0	

3 と 3 をかける
9 から 9 をひく

④

		3	
3	/	9	6
		9	👏
			6

十の位の6を
おろす

⑤

		3	2
3	/	9	6
		9	
			6

6 ÷ 3 をしよう
6 の中に3が
2つ入るよね

⑥

		3	2
3	/	9	6
		9	
			6
			6
			0

3 と 2 をかける
6 から 6 をひく



⑦

	3	2	
3/	9	6	2
	9		
		6	
		6	
			2

⑧

	3	2	0
3/	9	6	2
	9		
		6	
		6	
			2

2 ÷ 3 はわりきれないから、0 がたつよ。

一の位の 2 をおろす

⑨

	3	2	0
3/	9	6	2
	9		
		6	
		6	
			2
			0
			2

3 と 0 をかける

2 から 0 をひく

962 ÷ 3 = 320 あまり 2 と求めることができたね。



下の図がわり算の筆算のポイントだったね。
一番下にある数があまりになることをかくにんしておこう。

	商	
わる数	わられる数	
	あまり	

「わり算の筆算のやり方（3けた）」まとめ

わり算の筆算はくりかえし練習していくと、速く計算できるようになるから、教科書や問題集などにのっている筆算をたくさんやっていくといいよ。

「わり算の筆算（3けた）」まとめ

- ・ 2けたのわり算と同じように
わる、かける、ひく、チェック、おろすをくりかえす。
- ・ ひいた数がわる数より小さくなっているかチェックする。

答えがあっているかたしかめる

- ・ 2けたのときと同じようにけん算をする
わる数と商をかけて、あまりをたして、「わられる数」になっているかをかくにんしよう。

